

信乃助EX Lite

送信状エディタ

送信状を作成しましょう

送信状を作成する手順を説明します。

送信状を作成するには	2
送信状作成の流れ	3
起動と終了	4
信乃助送信状エディタ画面	5
表示を変更する	6
オブジェクトを作成する	9
オブジェクトを編集する	18
送信状を印刷する	24
送信状を保存する	25
起動時の初期値を設定する	26

送信状を作成するには

送信状とは、FAX を送信するときに文書の最初につけるおもて書きの用紙のことです。通常、発信元である自分の名前（送ったのは誰か）や送り先（誰あてに送ったのか）などを書きます。『信乃助送信状エディタ』は、その送信状を作成するプログラムで、次の特徴があります。

- テキストや画像を自由な位置に挿入でき、簡単な操作で送信状の作成や編集ができます。
- 方眼紙が表示できるので、イメージの位置やサイズの目安になり、きれいに仕上げることができます。
- あらかじめ用意されているスタンプや飾り罫を利用して、楽しい送信状が作成できます。
- 発信元や送信先の情報（氏名、住所、FAX 番号など）を、アドレス帳のデータを利用して差し込むことができます。
- 作成した送信状は、呼び出して再利用できます。

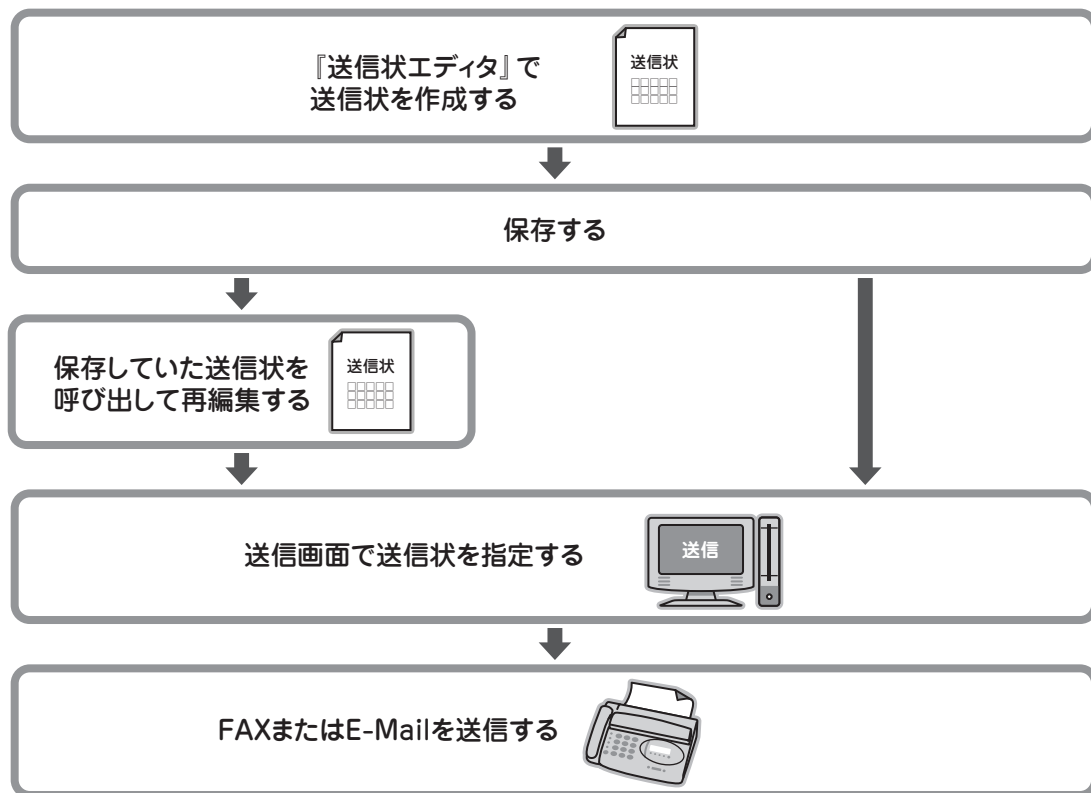


お知らせ

- 『信乃助送信状エディタ』で作成する送信状は、白黒のみ対応しています。

送信状作成の流れ

『信乃助送信状エディタ』での、処理の流れを次に示します。



起動と終了

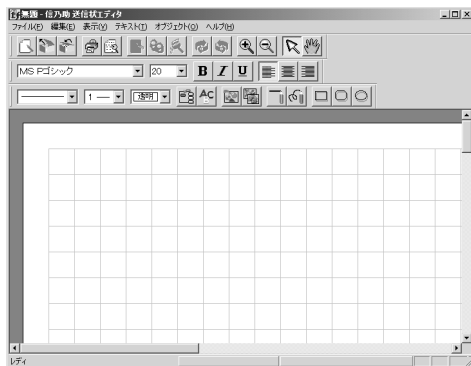
起動

『信乃助送信状エディタ』を起動します。

- 1 [オプション] → [送信状デザイン] を選択します。



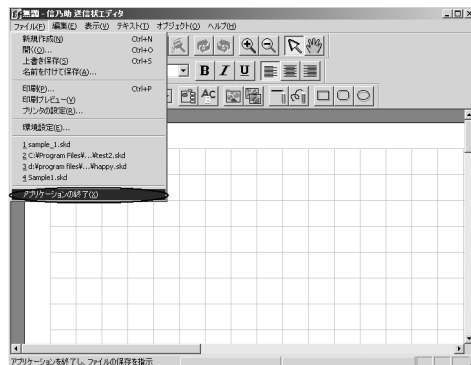
- ▶ [信乃助送信状エディタ] 画面が表示されます。



終了

『信乃助送信状エディタ』を終了します。

- 1 [ファイル] → [アプリケーションの終了] を選択します。



- ▶ 『信乃助送信状エディタ』が終了します。















信乃助送信状エディタ画面

〔信乃助送信状エディタ〕画面は次のようになっています。



■ ツールバー


よく使うツールのボタンが表示されています。

-  新規に送信状を作成
-  保存済の送信状を開く
-  作業中のファイルを上書きして保存
-  作業中のファイルを印刷
-  印刷イメージを表示 (印刷プレビュー)
-  選択範囲を切り取ってクリップボードに保存 (カット)
-  選択範囲をコピーしてクリップボードに保存 (コピー)
-  クリップボードの内容を貼り付け (ペースト)
-  直前に行った操作を取り消す (20 回前まで)
-  取り消した操作をやり直す (20 回前まで)
-  送信状を拡大表示 (2 倍) (クリックすることにより拡大)
-  送信状を縮小表示 (1/2 または 1/4) (クリックすることにより縮小)
-  オブジェクトを選択
-  画面のスクロール

■ テキストバー


テキストの入力や編集で使うツールのボタンなどが表示されています。


 フォントの種類を選択


 フォントのサイズを選択


 テキストを太字にする (ボールド)

 テキストを斜体にする (イタリック)

 テキストに下線をつける (アンダーライン)

 テキストを左揃えにする

 テキストを中央揃えにする

 テキストを右揃えにする


■ オブジェクトバー


図形やイラストなどを作成するツールのボタンなどが表示されています。

 線の種類を選択


 実線の太さを選択

 オブジェクト枠内のパターンを選択

 差し込みオブジェクトを挿入

 テキストを挿入

 画像を挿入

 送信状エディタに添付されているイラストを挿入

 直線を挿入

 フリー線を挿入

 四角形を挿入

 縁丸四角形を挿入

 円を挿入

表示を変更する

送信状の編集画面を拡大または縮小して表示したり、送信状を作成しやすくするための方眼紙を表示することができます。

表示倍率を変更する

■ 表示できる倍率

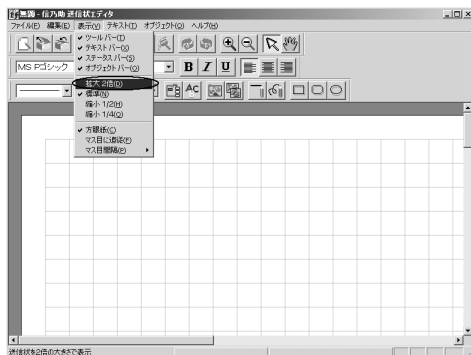
- ・ 拡大 2 倍
- ・ 標準
- ・ 縮小 1/2
- ・ 縮小 1/4

● 初期値は「標準」です。

拡大表示する

送信状を標準表示より 2 倍にして表示します。

① [表示] → [拡大 2 倍] を選択します。

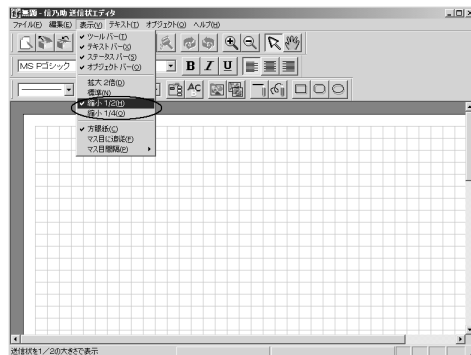


▶ 標準より 2 倍に拡大されて表示されます。

縮小表示する

送信状を標準表示より 1/2、または 1/4 に縮小して表示します。

① [表示] → [縮小 1/2] (または [縮小 1/4]) を選択します。



▶ 標準の 1/2 に縮小されて表示されます。

お知らせ

● 次のボタンを使用しても、表示倍率を変更できます。

- 🔍 クリックすることにより拡大表示
- 🔍 クリックすることにより縮小表示

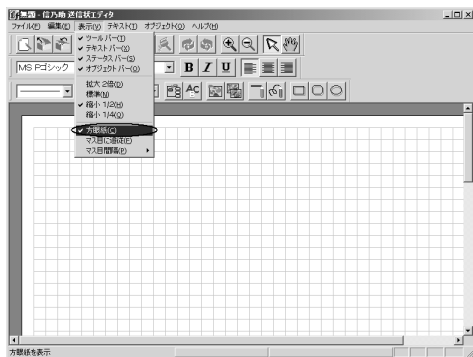
方眼紙を利用する

方眼紙は、オブジェクトを作成するとき、位置やサイズの目安にするための機能です。
方眼紙のマス目は、間隔が変更できます。
また、マス目に合わせてオブジェクトを配置することもできます。

方眼紙の表示／非表示を切り替える

方眼紙の表示／非表示を切り替えます。

- ① 方眼紙が表示されていないときは、[表示] → [方眼紙] を選択します。



▶ 方眼紙が表示されます。

- 方眼紙が表示されているときにこの操作を行うと、非表示になります。

マス目の間隔を変更する

方眼紙のマス目の間隔を変更します。

■ マス目間隔

- ・ 20 ドット
- ・ 40 ドット
- ・ 60 ドット
- ・ 80 ドット

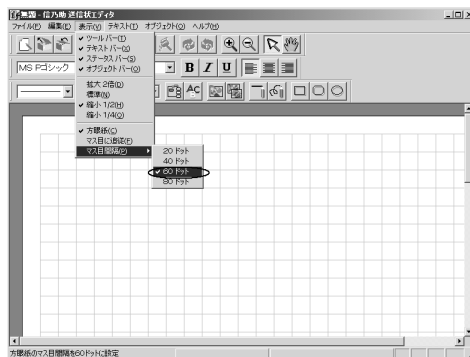
- 初期値は「40 ドット」です。

ここでは、60 ドットに変更します。

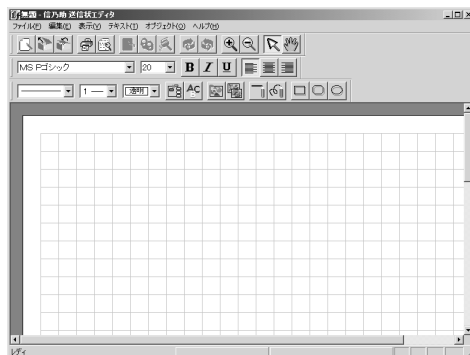
お知らせ

- 方眼紙が表示されていないときは実行できません。

- ① [表示] → [マス目間隔] → [60 ドット] を選択します。



▶ マス目の間隔が 60 ドットになります。



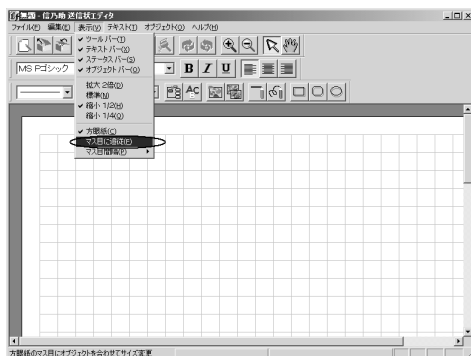
マス目追従を設定する

オブジェクトがマス目にそって配置するように設定できます。マス目に追従するように設定しておく、マス目単位でサイズや位置を合わせることができるので、オブジェクトをよりきれいに配置することができます。

！ お願い

- 方眼紙が表示されていないときは実行できません。

① [表示] → [マス目に追従] を選択します。



- [表示] メニューの [マス目に追従] にチェックがついているときは、設定されている状態です。
このとき ① の操作を行うと、設定が解除されます。

オブジェクトを作成する

オブジェクトの種類

『信乃助送信状エディタ』で作成できるオブジェクトには、次の9種類があります。

■ 差し込み

FAX 送信時に、アドレス帳から読み込まれた内容を差し込みます。

■ テキスト

テキストを挿入します。

■ イメージ

画像を挿入します。

■ イラスト

イラストを挿入します。

■ 直線

直線を挿入します。

■ フリー線

フリー線を挿入します。

■ 四角形

四角形を挿入します。

■ 縁丸四角形

縁丸四角形を挿入します。

■ 円

円を挿入します。

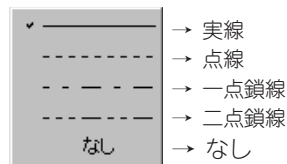
オブジェクトの属性

オブジェクトには、線の種類やパターンなどの属性が設定できます。

すべてのオブジェクトに指定できる属性

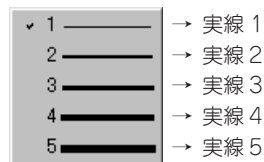
■ 線の種類

オブジェクト枠の線の種類を選択します。



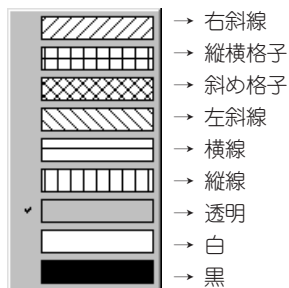
■ 線の太さ

オブジェクト枠の線の太さを選択します。



■ パターン

オブジェクト枠内のパターンを選択します。



お知らせ

- 差し込みやテキストも、オブジェクトとして扱われます。
- 作成できるオブジェクトの数には制限はありませんが、パソコンのメモリ空き容量に依存します。

テキスト、差し込みオブジェクトに指定できる属性

■ フォント

MS ゴシックなどのフォントの種類を選択します。

■ フォントサイズ

フォントのサイズを 8～72 ポイントから指定します。

■ 文字スタイル

太字、斜体、下線が指定できます。

■ 文字揃え

右揃え、中央揃え、左揃えの中から選択します。

お知らせ

- 差し込みオブジェクトのみの属性については、「差し込みを挿入する」(→ P.16) を参照してください。

イメージ、イラストオブジェクトに指定できる属性

■ 画像ファイルの形式

ビットマップ (BMP)、TIFF、JPEG の中から画像ファイルの形式を選択します。

■ 画像データのサイズを変えない

作成したオブジェクト枠のサイズにかかわらず、画像データをそのままのサイズで表示します。

■ 定義した矩形サイズに合わせる

作成したオブジェクト枠のサイズに合わせて、画像データを拡大または縮小します。

■ 縦横比を変えずに定義した矩形サイズに合わせる

画像データサイズの縦横比を変えずに、作成したオブジェクト枠内に入るようにサイズを拡大または縮小します。

サンプルイラストの種類

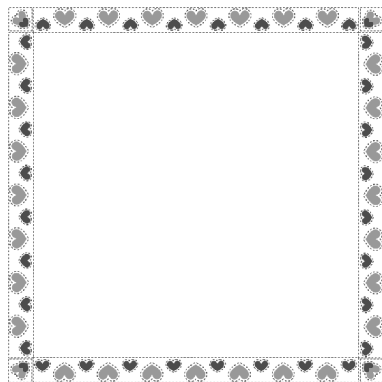
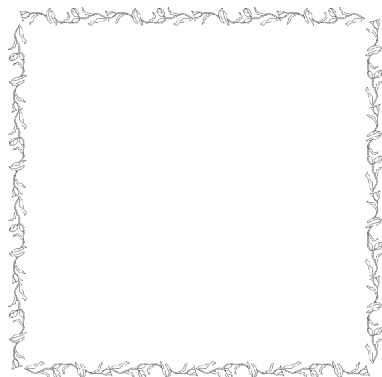
『信乃助 EX Lite』には、実用的で楽しい飾り罫やスタンプが用意されています。
その一部を紹介します。

■ 飾り罫

用意されている飾り罫のサンプル数は 18 種類です。

格納されているフォルダ (パス) :C:\Program Files\Comuse\skex\Bitmap\Ornament

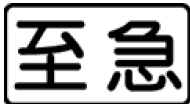
(インストールしたフォルダによって異なる場合があります)



■ スタンプ（ビジネス用）

用意されているビジネス用スタンプのサンプル数は 36 種類です。

格納されているフォルダ（パス）:C:\Program Files\Comuse\skex\Bitmap\Stamp_Business
（インストールしたフォルダによって異なる場合があります）



年末年始休暇のお知らせ

■ スタンプ（一般用）


用意されている一般用スタンプのサンプル数は 33 種類です。

格納されているフォルダ（パス）:C:\Program Files\Comuse\skex\Bitmap\Stamp_General
（インストールしたフォルダによって異なる場合があります）

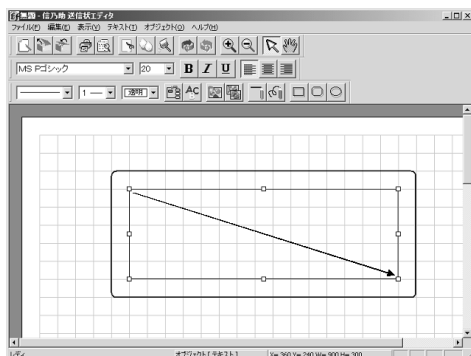


テキストを挿入する

文字をテキストオブジェクトとして扱います。テキストを挿入するには、テキストオブジェクト枠を作成し、その枠内に文字を入力します。

1  ボタンをクリックします。
または、[オブジェクト] → [テキスト] を選択します。

2 文字を入力する範囲をドラッグします。

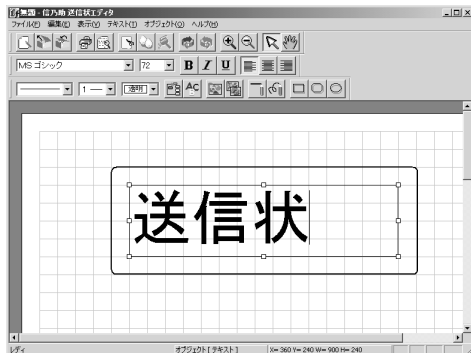


▶ テキストオブジェクト枠が作成されます。

3 オブジェクト枠内でダブルクリックします。
または、オブジェクト枠内をクリックし、[テキスト] → [テキスト編集] を選択します。

▶ カーソルが表示されます。

4 文字を入力します。



直線や四角形を挿入する

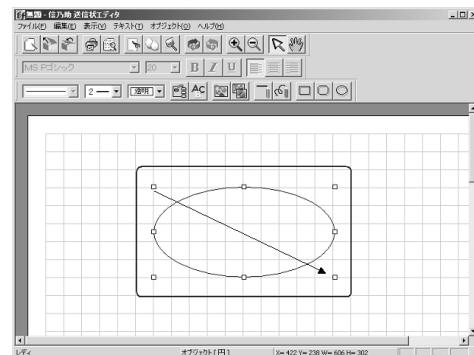
直線、フリー線、四角形、縁丸四角形、円を描画します。

1 描画のボタンをクリックします。



または、メニューバーの [オブジェクト] をクリックし、描画したいオブジェクトを選択します。

2 図形を描画する範囲をドラッグします。



▶ 指定した図形が描画されます。

イメージを挿入する

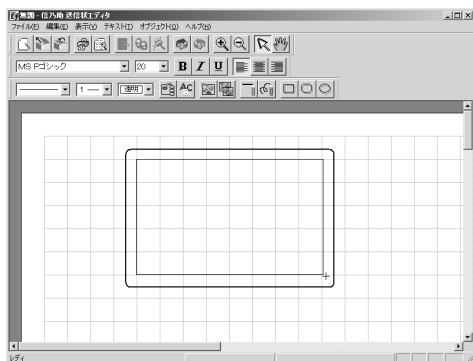
オブジェクト枠に、画像ファイルを読み込んで挿入します。

読み込める画像のファイルはビットマップ (BMP)、TIFF、JPEG 形式です。

1 ボタンをクリックします。

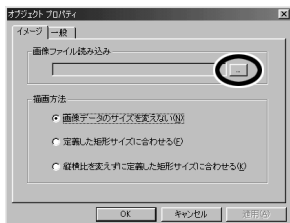
または、[オブジェクト] → [イメージ] を選択します。

2 画像を挿入する範囲をドラッグします。



▶ イメージオブジェクト枠が作成され、[オブジェクト プロパティ] 画面が表示されます。

3 ボタンをクリックします。



▶ [画像ファイル選択] 画面が表示されます。

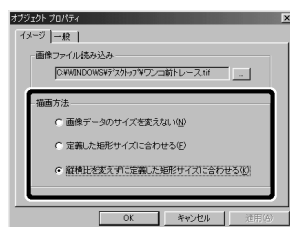
4

「ファイル名」に読み込む画像ファイルを指定し、**開く** ボタンをクリックします。



5

「描画方法」を選択します。



■ 画像データのサイズを変えない

作成したオブジェクト枠のサイズにかかわらず、画像データをそのままのサイズで表示します。

■ 定義した矩形サイズに合わせる

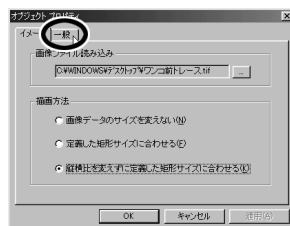
作成したオブジェクト枠のサイズに合わせて、画像データを拡大または縮小します。

■ 縦横比を変えずに定義した矩形サイズに合わせる

画像データサイズの縦横比を変えずに、作成したオブジェクト枠内に入るように拡大または縮小します。

6

[一般] タブをクリックします。



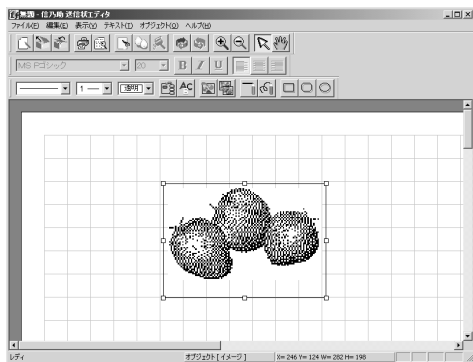
7

「線の種類」、「実線の太さ」、「パターン」を指定し、**OK** ボタンをクリックします。



- 線の種類やパターンなどは、「オブジェクトの属性」(→ P.9) を参照してください。

▶ 指定した画像がオブジェクト枠内に挿入されます。



お知らせ

- 挿入するイメージがカラーの場合でも、挿入すると自動的にグレースケール(白黒)で表示されます。

イラストを挿入する

『信乃助 EX Lite』には飾り罫やスタンプなどのイラストが用意されています。このイラストを挿入します。

お知らせ

- イラストの種類は「サンプルイラストの種類」(→ P.10) を参照してください。

1

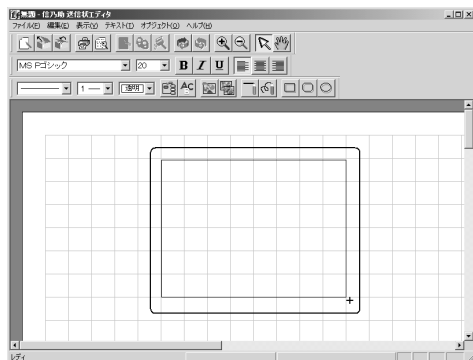


ボタンをクリックします。

または、[オブジェクト] → [イラスト] を選択します。

2

イラストを挿入する範囲をドラッグします。



▶ イラストオブジェクト枠が作成され、[オブジェクト プロパティ] 画面が表示されます。

3

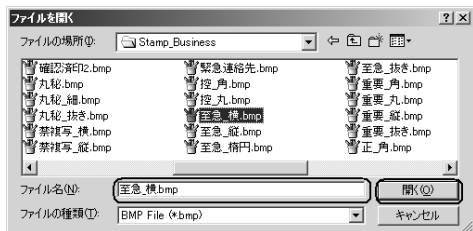


ボタンをクリックします。



▶ [画像ファイル選択] 画面が表示されます。

- 4 「ファイル名」に読み込むイラストファイルを指定し、「開く」ボタンをクリックします。



- イラストファイルの格納場所は「サンプルイラストの種類」(→ P.10) を参照してください。

- 5 「描画方法」を選択します。



■ 画像データのサイズを変えない

作成したオブジェクト枠のサイズにかかわらず、画像データをそのままのサイズで表示します。

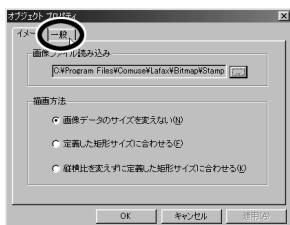
■ 定義した矩形サイズに合わせる

作成したオブジェクト枠のサイズに合わせて画像データを拡大または縮小します。

■ 縦横比を変えずに定義した矩形サイズに合わせる

画像データサイズの縦横比を変えずに、作成したオブジェクト枠内に入るように拡大または縮小します。

- 6 [一般] タブをクリックします。

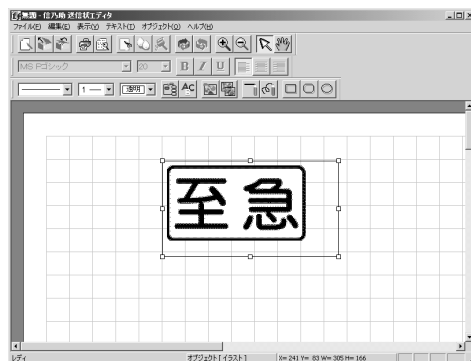


- 7 「線の種類」、「実線の太さ」、「パターン」を指定し、「OK」ボタンをクリックします。



- 線の種類やパターンなどは「オブジェクトの属性」(→ P.9) を参照してください。

- ▶ 指定したイラストがオブジェクト枠内に挿入されます。



差し込みを挿入する

FAX 送信時に指定した内容を自動的に差し込むことができます。

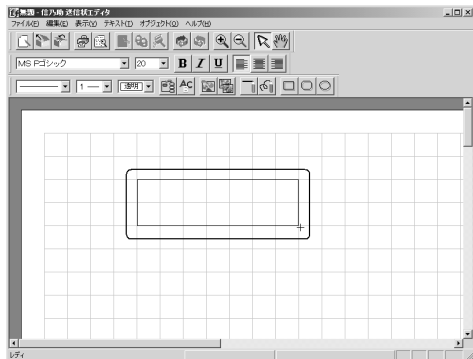
■ 差し込みできる内容

- ・ 送信日時
- ・ 送信先住所
- ・ 送信先会社名
- ・ 送信先部署名
- ・ 送信先名
- ・ 送信枚数
- ・ 送信先 FAX 番号または送信先メールアドレス
- ・ 送信先電話番号
- ・ 発信元会社名
- ・ 発信元部署名
- ・ 発信元名
- ・ 発信元住所
- ・ 発信元 FAX 番号
- ・ 発信元電話番号
- ・ 発信元メールアドレス
- ・ メモ

1 ボタンをクリックします。

または、[オブジェクト] → [差し込み] を選択します。

2 差し込む文字列を挿入する範囲をドラッグします。



▶ 差し込みオブジェクト枠が作成され、[オブジェクト プロパティ] 画面が表示されます。

3

差し込む項目を「種類」から選択します。



▶ 選択した種類に対応する書式が右側に表示されます。

4

「書式」で、項目の前後につける文字列の書式を選択します。



● 「サンプル」に、選択した書式のサンプルが表示されます。

5

[テキスト] タブをクリックします。



6

「フォント」、「文字スタイル」、「文字揃え」を指定します。



● フォントや文字スタイルなどは「オブジェクトの属性」(→ P.9) を参照してください。

7

「一般」タブをクリックします。



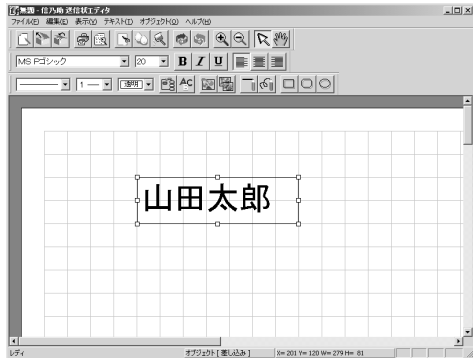
8

「線の種類」、「実線の太さ」、「パターン」を指定し、**OK** ボタンをクリックします。



- 線の種類やパターンなどは、「オブジェクトの属性」(→ P.9) を参照してください。

▶ 指定した差し込み文字列のサンプルがオブジェクト枠内に挿入されます。



- 差し込み文字列の文字数がオブジェクト枠よりも長い場合は、枠内に表示できる分の文字だけが表示されます。
- 枠内に指定した文字列の内容が表示しきれないときは、枠のサイズをドラッグして変更するか、フォントサイズを変更してください。
- フォントサイズは、オブジェクトが選択された状態のとき、テキストバーの< 20 >で変更できます。

- 実際に送信するときは、送信する画面で指定した発信元や送信先の情報が差し込まれ、送信されます。
- 項目付きの差し込みについて
項目付きの書式を選択した場合でも差し込まれる内容がない場合には項目も表示されません。
- 送信先 F A X 番号と送信先メールアドレスの差し込みについて

送信先 F A X 番号と送信先メールアドレス両方に差し込みの指定はできますが、送信方法によってどちらか一方しか表示されません。

- ・ 送信方法が F A X の場合は F A X 番号を表示
- ・ 送信方法がメールの場合はメールアドレスを表示

オブジェクトを編集する

作成したオブジェクトを編集します。

■ オブジェクトの位置の移動

オブジェクトの位置を移動します。

■ 同じ属性のオブジェクトのコピー

同じ属性のオブジェクトをコピーし、貼り付けます。

■ 同じ属性のオブジェクトの切り取り

同じ属性のオブジェクトを切り取って、貼り付けます。

■ オブジェクトの削除

オブジェクトを削除します。

■ オブジェクト枠サイズの変更

オブジェクト枠のサイズを変更します。

■ オブジェクト属性の変更

オブジェクト枠の線やパターン、描画方法などの変更をします。また、テキストのフォントや文字スタイルなども変更できます。

■ 背面および前面への移動

複数のオブジェクトが重なり合っている場合、オブジェクトを前面または背面へ移動します。

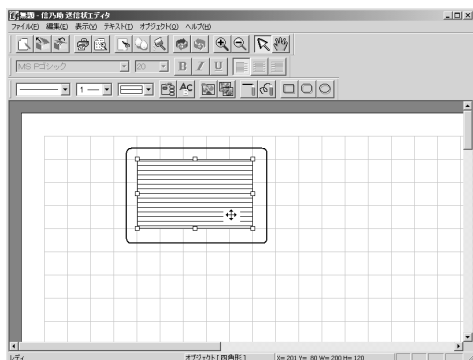
■ 整列

複数のオブジェクトを整列（左端揃え、右端揃え、上端揃え、下端揃え）します。

オブジェクトの位置を移動する

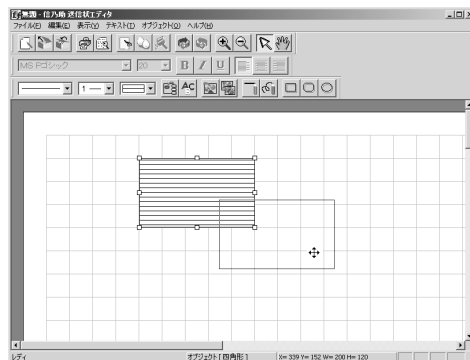
オブジェクトの位置を移動します。

1 移動するオブジェクトの枠内でクリックします。



- ▶ 枠の周囲に□が表示され、オブジェクト枠が選択されます。

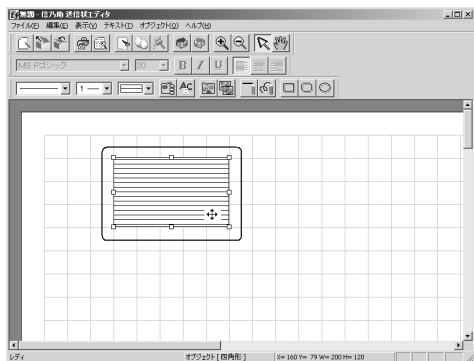
2 オブジェクト枠をドラッグして、位置を移動します。



オブジェクトをコピーする／切り取る

オブジェクトをコピーまたは、切り取って貼り付けます。

1 コピーまたは、切り取るオブジェクトの枠内でクリックします。

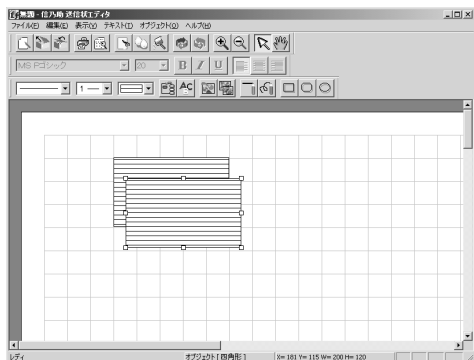


2 コピーは ボタン、切り取りは ボタンをクリックします。

または、[編集] → [コピー] / [切り取り] を選択します。

- [切り取り] を選択すると、選択したオブジェクトが画面上から消えます。

3 ボタンをクリックし、貼り付けます。または、[編集] → [貼り付け] を選択します。

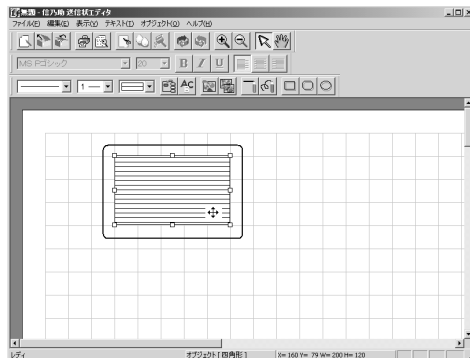


- 右クリックでオブジェクトを選択し、表示されるショートカットメニューからもコピーや貼り付けができます。

オブジェクトを削除する

オブジェクトを削除します。

1 削除するオブジェクトの枠内でクリックします。



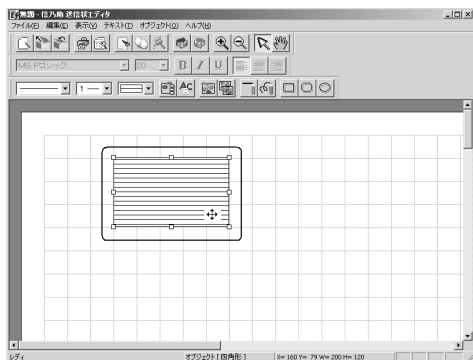
2 キーボードの **Delete** キーを押します。または、[編集] → [削除] を選択します。

- ▶ オブジェクトが削除されます。
- 右クリックでオブジェクトを選択し、表示されるショートカットメニューから [削除] を選択しても、削除することができます。

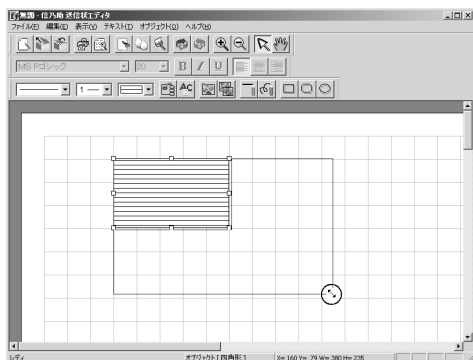
オブジェクト枠のサイズを変更する

オブジェクト枠のサイズを変更します。

- 1 サイズを変更するオブジェクトの枠内でクリックします。



- 2 サイズ変更ハンドルをドラッグしてサイズを変更します。

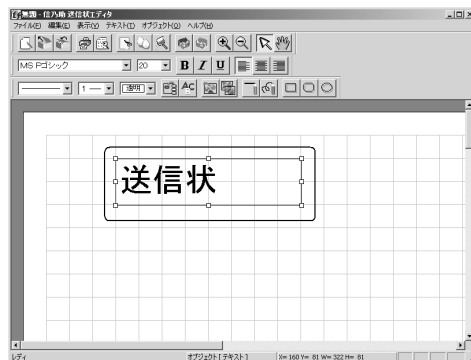


オブジェクトの属性を変更する

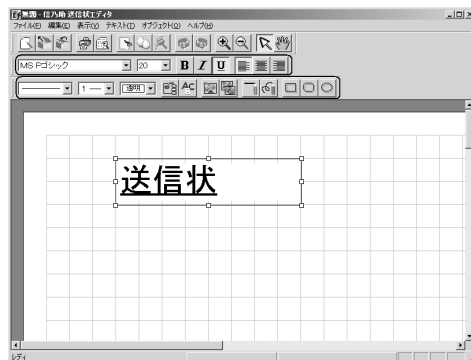
オブジェクトの属性を変更します。

- 1 テキストバー、オブジェクトバーで属性を変更する

- 1 属性を変更するオブジェクトの枠内でクリックします。



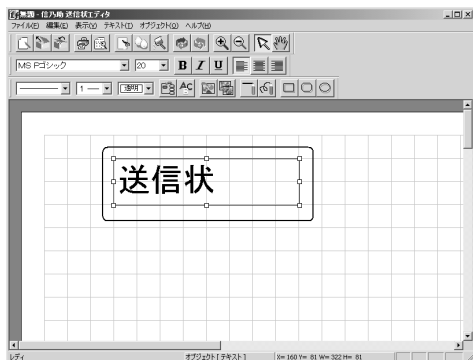
- 2 テキストバーまたはオブジェクトバーで属性を変更します。



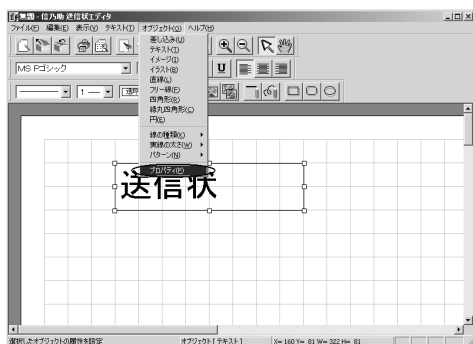
- 直線、フリー線、四角形、縁丸四角形、円、イメージ、イラストのオブジェクトを選択した場合、テキストバーは使用できません。

プロパティ画面で属性を変更する

- ① 属性を変更するオブジェクトの枠内でクリックします。



- ② [オブジェクト] → [プロパティ] を選択します。



▶ [オブジェクト プロパティ] 画面が表示されます。

- ③ 属性を変更し、**OK** ボタンをクリックします。



- 画面例は、テキストオブジェクトの「オブジェクト プロパティ」画面です。

オブジェクトの種類によって、[オブジェクト プロパティ] 画面に表示されるタブと属性の種類が異なります。

オブジェクトの種類	タブ	属性
直線、フリー線、四角形、縁丸四角形、円	一般	線の種類、実線の太さ、パターン
テキスト	テキスト	フォント、サイズ 文字スタイル 文字揃え
	一般	線の種類、実線の太さ、パターン
イメージ	イメージ	描画方法 画像ファイル読み込み
	一般	線の種類、実線の太さ、パターン
イラスト	イメージ	描画方法 イラストファイル読み込み
	一般	線の種類、実線の太さ、パターン
差し込み	差し込み	種類、書式
	テキスト	フォント、サイズ 文字スタイル 文字揃え
	一般	線の種類、実線の太さ、パターン

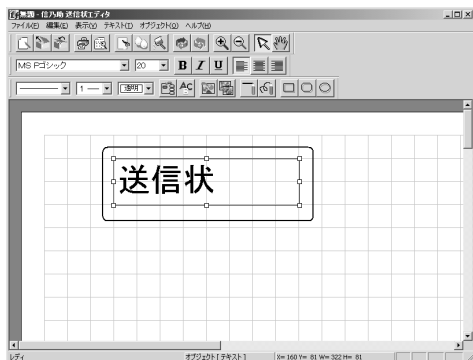
- テキスト以外のオブジェクトは、ダブルクリックして [オブジェクト プロパティ] 画面を表示することもできます。
- テキストオブジェクトの場合は、ダブルクリックするとカーソルが表示され、テキストを編集できます。
- オブジェクトの組み合わせによっては、選択できない属性もあります。

テキストを修正する

挿入したテキストを修正します。

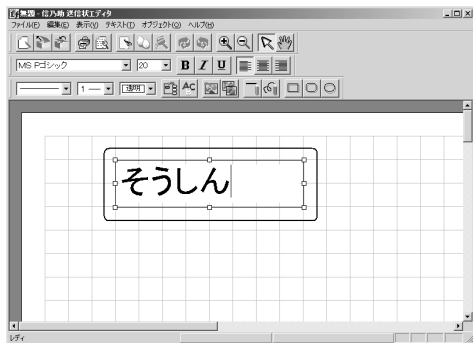
1 修正するテキストオブジェクト枠をダブルクリックします。

または、オブジェクト枠をクリックし、[テキスト] → [テキスト編集] を選択します。



- ▶ テキストオブジェクト枠が選択され、枠内にカーソルが表示されます。

2 文字を修正します。

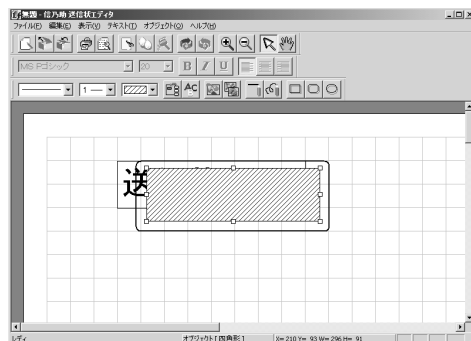


- このとき、フォントやサイズなどの属性も変更できます。
変更する文字を選択し、テキストバーで属性を変更します。

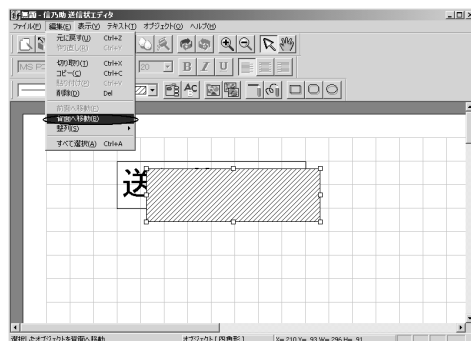
複数オブジェクトの重なりを変更する

複数のオブジェクトが重なっている場合に、選択オブジェクトを背面または前面へ移動します。

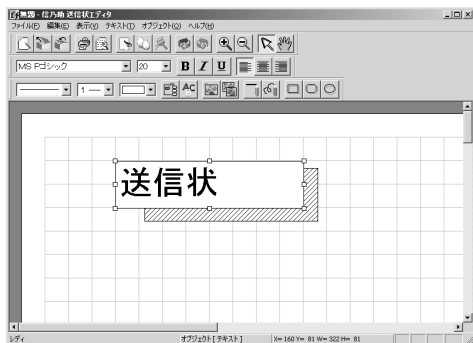
1 重なりを変更移動するオブジェクトの枠内でクリックします。



2 [編集] → [背面へ移動] または [前面へ移動] を選択します。



- ▶ 選択したオブジェクトが、重なっているもう一つのオブジェクトのうしろ側、または前側に移動します。

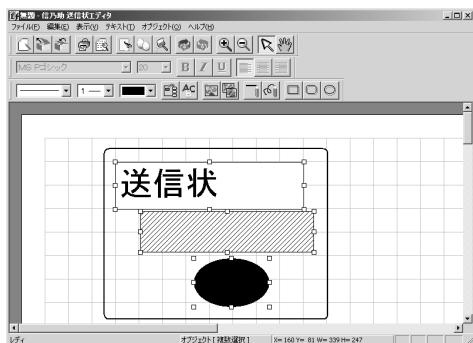


- 移動するオブジェクトを右クリックして表示されるショートカットメニューからも前面または背面への移動ができます。

複数のオブジェクトを整列する

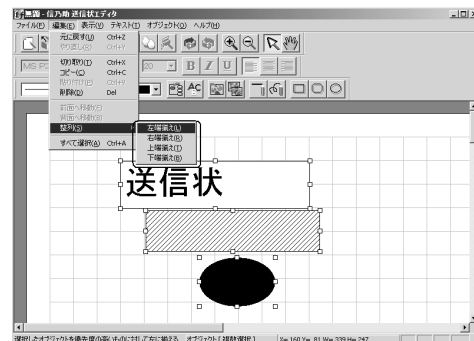
複数あるオブジェクトを左端揃え、右端揃え、上端揃え、下端揃えに整列します。

1 整列する複数のオブジェクトが入るようにドラッグして、範囲指定します。

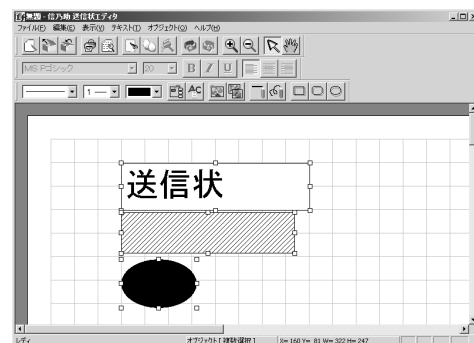


2

[編集] → [整列] → [左端揃え] (または、[右端揃え] [上端揃え] [下端揃え]) を選択します。



▶ オブジェクトが指定した揃え方で整列します。




- 範囲指定した領域内で右クリックして表示されるショートカットメニューから整列させることもできます。

送信状を印刷する

送信状をプリンタで印刷して確認します。

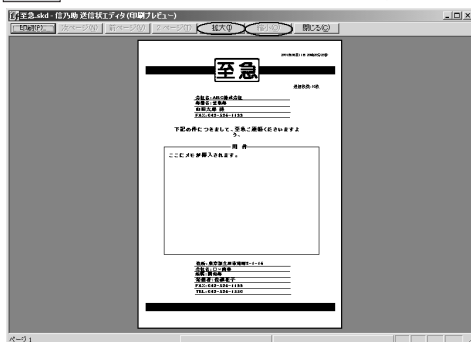
全体の仕上がりを確認する

印刷する前に、印刷プレビューで全体の仕上がりを確認します。

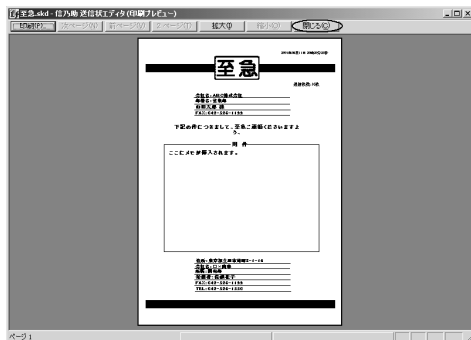
- 1  ボタンをクリックします。
または [ファイル] → [印刷プレビュー] を選択します。

▶ [印刷プレビュー] 画面が表示されます。

- 2 仕上がりを確認します。
拡大 ボタンをクリックすると拡大表示、
縮小 ボタンをクリックすると縮小表示します。



- 3 **閉じる** ボタンをクリックします。




▶ 元の画面にもどります。

送信状を印刷する

送信状をプリンタで印刷します。

お知らせ

- 印刷するプリンタや用紙などを変更する場合は、あらかじめ [ファイル] → [プリンタの設定] を選択し、[プリンタの設定] 画面で内容を変更しておいてください。

- 1  ボタンをクリックします。
または [ファイル] → [印刷] を選択します。

▶ [印刷] 画面が表示されます。

- 2 「プリンタ名」などを確認して、**OK** ボタンをクリックします。



▶ 送信状がプリンタで印刷されます。

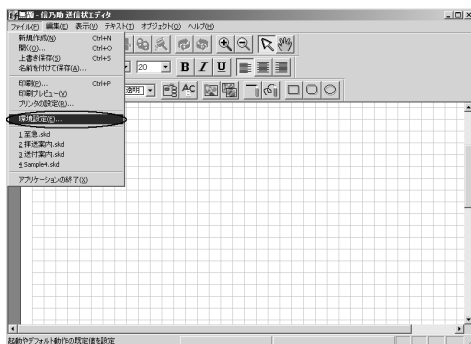
起動時の初期値を設定する

方眼紙のマス目の設定など、『信乃助送信状エディタ』が起動するときの初期値を設定します。

■ 設定内容

- 表示 : 拡大率、方眼紙
- テキスト : フォント、文字スタイル、文字揃え
- 一般 : 線の種類、実線の太さ、パターン

1 [ファイル] → [環境設定] を選択します。



▶ [環境設定] 画面が表示されます。

2 それぞれのタブをクリックして、初期値を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



▶ 初期値が設定され、次回起動時から指定した設定で画面が表示されます。

お知らせ

- 送信状サンプルに使用しているフォントがお使いのパソコンにない場合は、文字化けを起こすことがあります。このときは、[テキスト] のフォントを変更してください。